

# 2020年度第3四半期までの生乳及び牛乳 乳製品の需給見通しと課題について

2020年7月31日



一般社団法人 **Jミルク**  
Japan Dairy Association (J-milk)

## 予測および見通しの前提

### 1. 生乳生産予測（P 3～4の説明）

北海道及び都府県の予測値は、2020年6月までの生乳生産量データに基づき、累積気温や乳牛頭数（搾乳牛頭数・妊娠頭数）等の要因変数を ARIMA モデルに組み込んだ予測モデルによる推計値を基本に算出。なお、2020年度の気温は、「猛暑」で設定。

要因変数として採用している搾乳牛頭数は、家畜改良センターの月齢別乳用雌牛頭数（速報値）を基に、季節当月ごとの月齢推移確率（Xヶ月齢の乳用牛について、前月のX-1ヶ月齢からの平均残存率）を求めて推計。妊娠頭数は、授精頭数及び累積気温等の要因変数を ARIMA モデルに組み込んだ予測モデルにより推計（ARによる推計）。

### 2. 月齢別乳用雌牛頭数の推移と出生頭数（P 5～6の説明）

家畜改良センターの月齢別乳用雌牛頭数（速報値）を基に、季節月ごとの月齢推移確率（Xヶ月齢の乳用牛について前月のX-1ヶ月齢からの平均残存率）を求め推計。出生頭数（実績）は家畜改良センターの乳用雌牛頭数（速報値）をまとめた。

### 3. 牛乳等生産量予測（P 7～9の説明）

各々の予測値は、2020年6月までの生産量データに基づき、人口、価格、累積気温、平日日数等の要因変数、小売POSデータで確認された最近の変化動向等を ARIMA モデルに組み込んだ予測モデルによる推計値を基本に算出。なお、2020年度の気温は、「猛暑」で設定。

### 4. 用途別処理量予測（P 10～12の説明）

- (1) 生乳供給量は、生乳生産量から自家消費量を差し引いて算出。
- (2) 自家消費量は、各地域の直近までの動向を踏まえ設定。
- (3) 飲用等向処理量は、牛乳、加工乳、成分調整牛乳、乳飲料、はっ酵乳の予測生産量を基に、最近の生乳使用係数を乗じ算出。
- (4) 乳製品向処理量は、生乳供給量と飲用等向処理量の差。うち、チーズ向け、生クリーム等向け生乳処理量は、関係者ヒアリング等に基づき設定。

### 5. 脱脂粉乳・バター需給予測（P 13～14の説明）

- (1) 脱脂粉乳・バターの生産量は、脱脂粉乳・バター等向処理予測数量に、直近の動向等を反映した製造係数（これらの製品単位あたりに実際に使用された生乳数量）を乗じて算出。
- (2) 脱脂粉乳・バターの推定出回り量は、2020年6月までの推定出回り量データに基づき、発酵乳や代替乳製品の動向等の要因変数を ARIMA モデルに組み込んだ予測モデルによる推計値を基本に算出。
- (3) 脱脂粉乳・バターの在庫月数は、前年度の1ヶ月平均出回り量を基に算出。

### 6. 都府県生乳需給予測（P 15の説明）

- (1) 「移入必要量（道外移出量）」は、都府県不足量の補完と、北海道ブランド牛乳製造のための必要乳量等を基本に算出。
- (2) 「脱脂粉乳・バター等向処理量」は、「A-B-C」+「移入量」-「移出量」で算出し、過去5年間の最低数量や直近の需給状況等を加味して算出。

## 7. 予測の期間

現在、新型コロナウイルスの感染が再び全国的に拡大しつつあり、今後の牛乳乳製品需給の動向を見通すことは非常に難しい状況にある。しかし、その一方で、主に、夏季の飲用最需要期から年末のバター等の乳製品の最需要期までの課題を明らかにして、関係者間の認識の共有を図ることが不可欠であることから、上記3～6の需要に係る予測については、本年度第3四半期（～12月）までを公表することとした。

## 8. その他

なお、予測にあたっては、次の点についても配慮し予測値を推定した。

- (1) 予測期間内において、新型コロナウイルスのさらなる感染拡大による外出自粛等の影響は想定しない。
- (2) 小中学校の夏休みが全国的に短縮される。

1. 地域別生乳生産量の動向

表1-1：2019年度の地域別生乳生産量（実績）

（千トン）

	全 国		北海道		都府県	
		前年比		前年比		前年比
4月	623	99.9%	335	101.4%	288	98.2%
5月	644	99.5%	352	101.4%	293	97.3%
6月	619	99.7%	345	101.5%	273	97.6%
7月	623	101.1%	353	102.2%	270	99.8%
8月	596	98.2%	341	100.3%	255	95.5%
9月	584	104.1%	331	110.3%	252	97.1%
10月	602	101.0%	338	102.9%	264	98.6%
11月	585	101.0%	327	102.5%	258	99.2%
12月	616	101.1%	343	103.0%	273	98.8%
1月	625	101.4%	346	103.3%	279	99.2%
2月	597	105.2%	328	107.2%	268	102.9%
3月	650	101.6%	354	103.1%	296	99.9%
第1四半期	1,886	99.7%	1,032	101.4%	854	97.7%
第2四半期	1,802	101.1%	1,025	104.0%	777	97.5%
第3四半期	1,803	101.0%	1,008	102.8%	795	98.8%
第4四半期	1,871	102.7%	1,028	104.4%	844	100.6%
上期	3,688	100.4%	2,057	102.7%	1,631	97.6%
下期	3,675	101.8%	2,036	103.6%	1,639	99.7%
年度計	7,363	101.1%	4,092	103.2%	3,270	98.7%
閏年修正	7,342	100.8%	4,081	102.9%	3,261	98.4%

表1-2：2020年度の地域別生乳生産量（見通し）

（千トン）

	全 国		北海道		都府県	
		前年比		前年比		前年比
4月	634	101.8%	345	103.1%	289	100.3%
5月	657	102.0%	361	102.7%	296	101.3%
6月	623	100.7%	350	101.2%	274	100.2%
7月	621	99.7%	357	101.1%	264	97.8%
8月	602	101.1%	348	102.1%	255	99.9%
9月	588	100.7%	336	101.4%	252	99.9%
10月	609	101.2%	344	101.9%	265	100.4%
11月	593	101.2%	333	102.0%	259	100.3%
12月	624	101.3%	351	102.3%	273	99.9%
1月	634	101.5%	356	103.0%	278	99.8%
2月	583	97.7%	326	99.3%	257	95.7%
3月	656	101.0%	364	102.9%	292	98.8%
第1四半期	1,915	101.5%	1,056	102.3%	859	100.6%
第2四半期	1,811	100.5%	1,040	101.5%	771	99.2%
第3四半期	1,826	101.2%	1,029	102.1%	797	100.2%
第4四半期	1,874	100.1%	1,046	101.8%	828	98.1%
上期	3,726	101.0%	2,096	101.9%	1,630	99.9%
下期	3,699	100.7%	2,075	101.9%	1,625	99.1%
年度計	7,425	100.9%	4,171	101.9%	3,255	99.5%

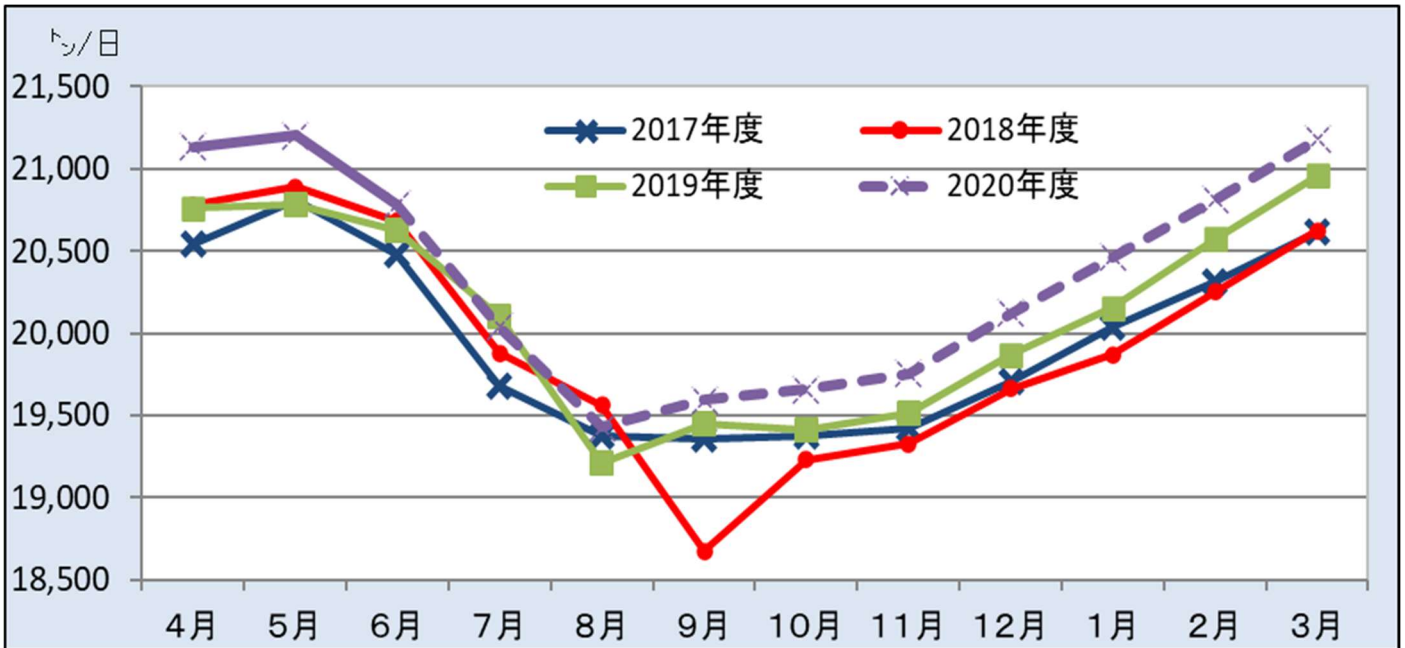
【2020年度生乳生産の見通し】

・北海道では、前年を上回る（4,171千トン・前年比101.9%）見通し。一方、都府県は前年を若干下回る（3,255千トン・同99.5%）ものの、全国では前年を上回り（7,425千トン・同100.9%）、2年連続の増産となる見通し。

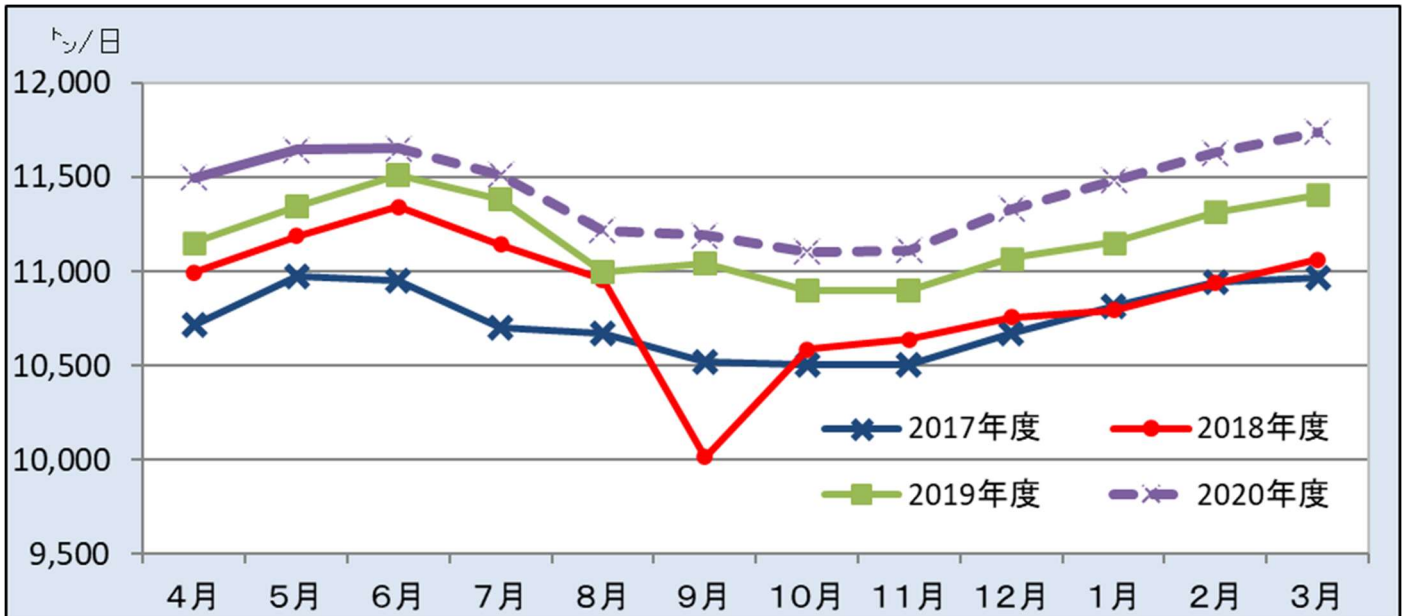
・前回見通しと比較すると、北海道の伸び率は縮小するものの、都府県の減少率が圧縮する見通し。

【前回見通し（/公表）】全国7,463千トン・前年比101.4%、北海道4,223千トン・前年比103.2%、都府県3,241千トン・同99.1%。

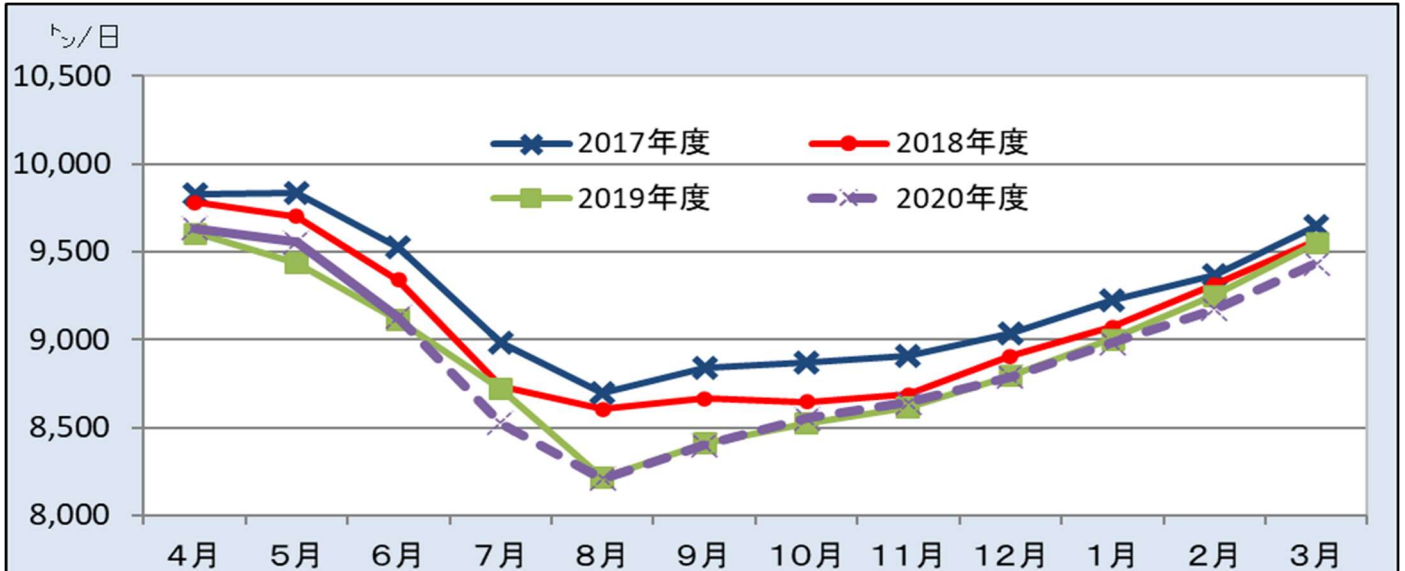
グラフ1-1：全国の生産量（日均量）



グラフ1-2：北海道の生産量（日均量）

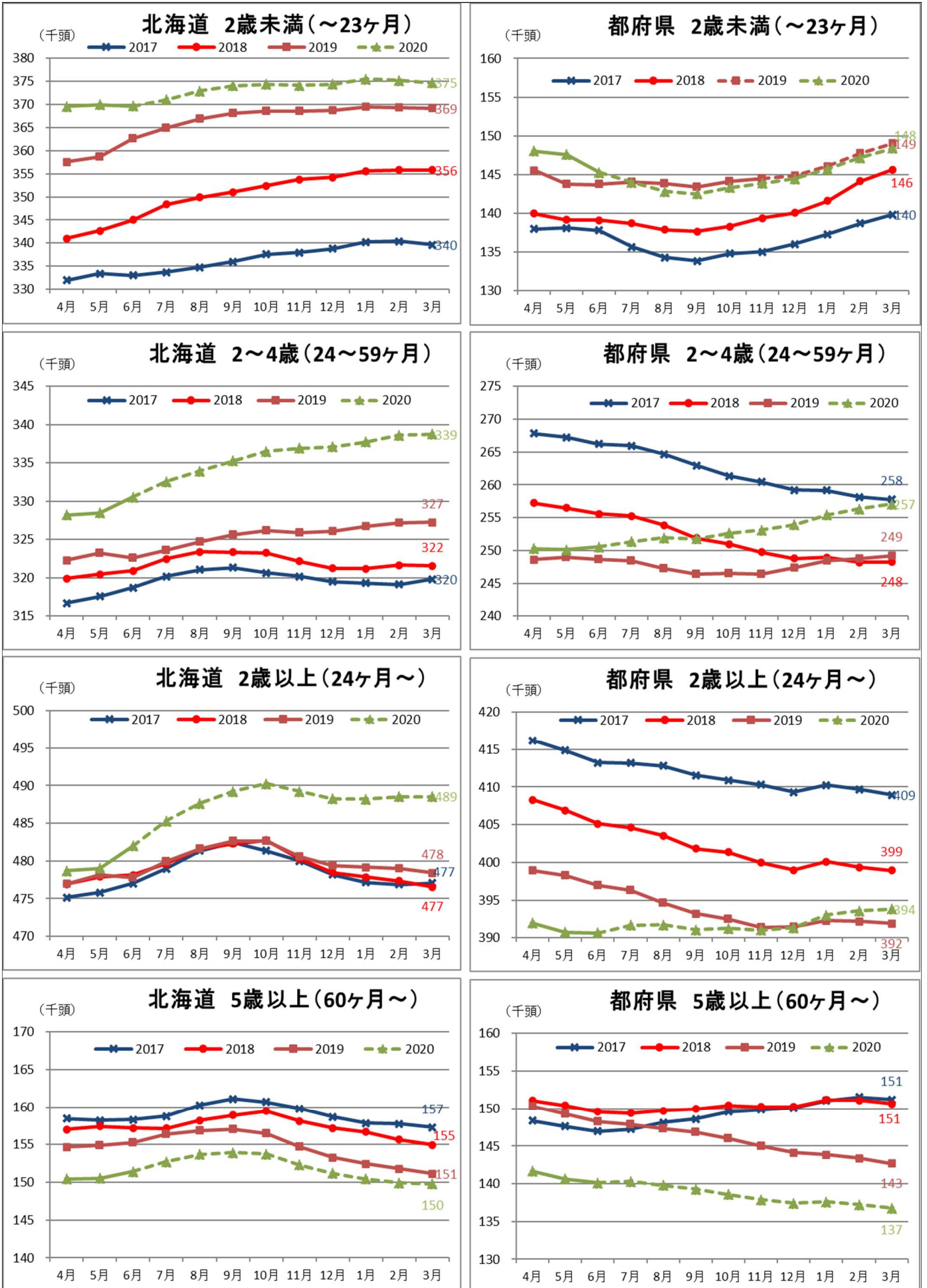


グラフ1-3：都府県の生産量（日均量）

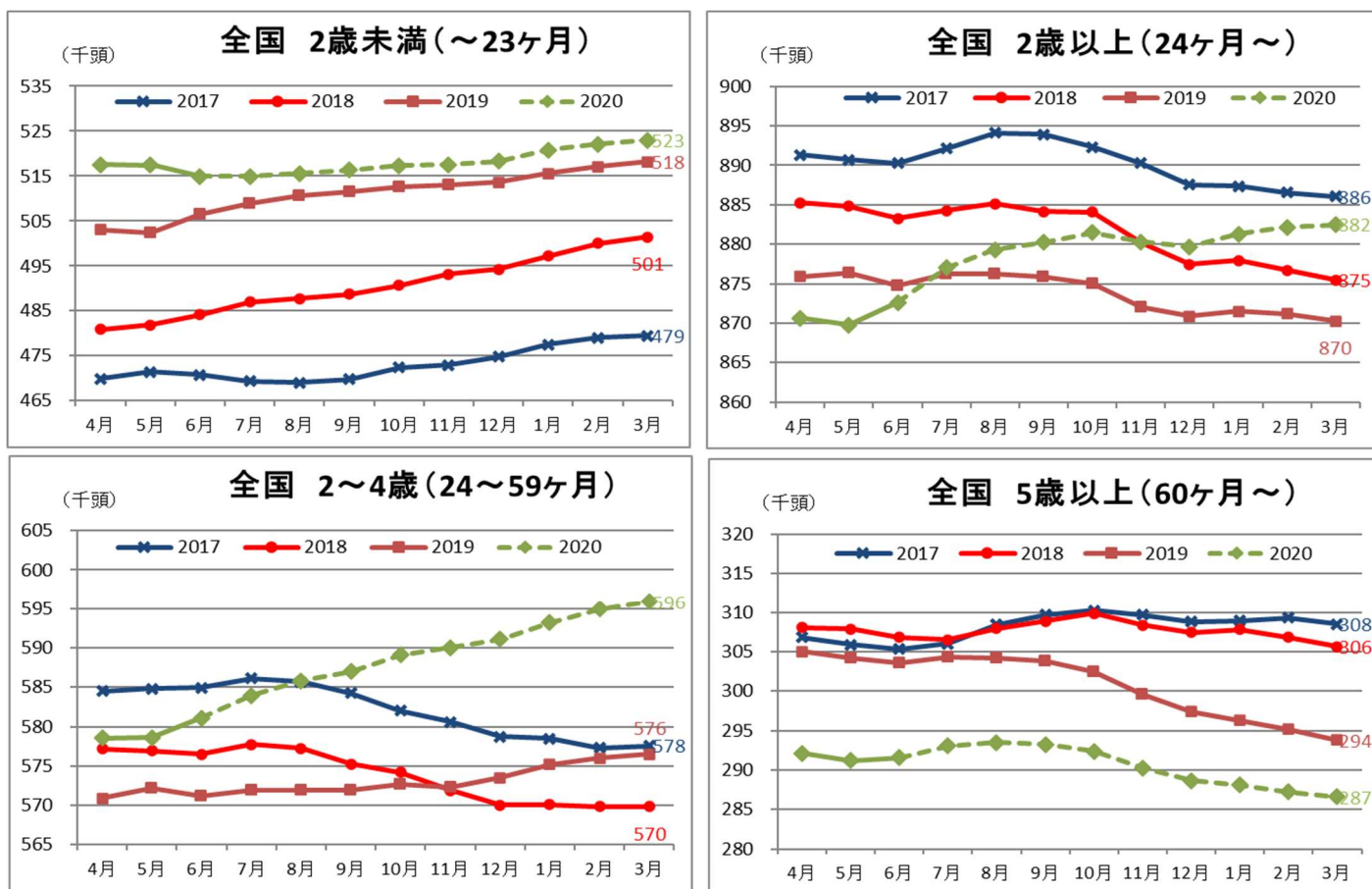


## 2. 月齢別乳用雌牛頭数の推移と出生頭数

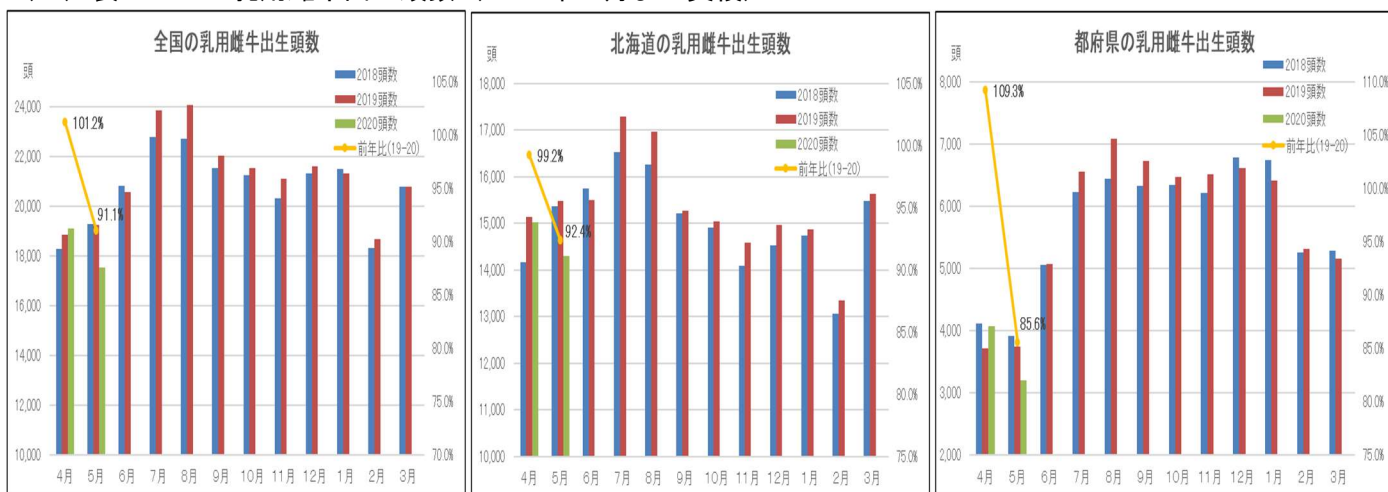
(1) グラフ2-1：北海道と都府県の月齢別乳用雌牛頭数（2020年7月以降見通し）



(2) グラフ2-2：全国の月齢別乳用雌牛頭数（2020年7月以降見通し）



(3) 表2-3：乳用雌牛出生頭数（2020年5月まで実績）



- ・4～5月の出生頭数は、全国で前年同期比96.1%と前年を下回っている。北海道は同95.8%、都府県は同97.4%。
- ・全国は、2歳未満頭数は引き続き前年を上回って推移し、2歳以上頭数については7月以降前年を上回る見通しにある。
- ・北海道は、2歳未満、2歳以上ともに増加し、特に生産の主力となる2～4歳頭数の伸び率は非常に高くなる見通しにある一方、5歳以上頭数は前年を下回って推移する見通しにある。
- ・都府県は、2歳未満頭数は、横ばいで推移する見通しだが、主力となる2～4歳頭数は前年を上回って推移する見通しにある。

【前回見通し】 全国：2歳未満527千頭、2～4歳597千頭、2歳以上885千頭、5歳以上287千頭  
 北海道：2歳未満378千頭、2～4歳340千頭、2歳以上490千頭、5歳以上150千頭  
 都府県：2歳未満150千頭、2～4歳257千頭、2歳以上394千頭、5歳以上137千頭

### 3. 牛乳等生産量の動向

表3-1: 2019年度の牛乳等生産量(実績)

(千kl)

	牛乳類												加工乳	成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳				
	牛乳				学乳				学乳以外											
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	うち、業務用	前年比	うち、業務用以外	前年比								
4月	378	99.5%	253	100.2%	24	90.8%	228	101.3%	28	109.0%	201	100.3%	11	143.9%	23	84.7%	92	98.5%	89	96.3%
5月	410	100.0%	276	99.3%	35	92.3%	241	100.4%	27	101.8%	214	100.3%	10	137.7%	24	87.4%	100	102.9%	89	93.8%
6月	406	100.1%	274	99.7%	37	97.9%	237	100.0%	26	103.4%	211	99.5%	10	138.8%	24	87.9%	98	102.2%	87	93.9%
7月	405	97.8%	267	97.6%	25	102.3%	243	97.1%	24	98.1%	219	97.0%	10	142.1%	25	84.2%	102	99.4%	87	94.1%
8月	397	100.8%	256	100.9%	6	108.9%	250	100.7%	26	103.4%	224	100.4%	11	135.9%	25	87.1%	105	101.8%	83	93.1%
9月	423	104.5%	279	103.7%	34	103.4%	246	103.7%	29	114.1%	217	102.5%	10	121.8%	25	109.3%	108	104.0%	86	98.6%
10月	421	100.6%	283	100.1%	37	94.2%	247	101.0%	30	97.7%	217	101.5%	11	122.9%	24	92.1%	102	102.3%	84	94.1%
11月	386	99.9%	264	99.8%	36	97.2%	228	100.3%	28	97.8%	200	100.6%	11	115.4%	23	92.8%	89	100.3%	84	100.0%
12月	374	101.4%	255	101.3%	30	108.7%	225	100.4%	28	104.8%	197	99.8%	12	116.1%	22	92.0%	85	102.6%	80	99.3%
1月	376	101.2%	257	100.4%	31	98.6%	226	100.6%	25	98.7%	201	100.9%	11	124.6%	22	89.9%	86	104.6%	85	97.5%
2月	364	104.0%	251	103.2%	33	94.1%	218	104.7%	24	97.0%	194	105.7%	10	121.3%	22	97.0%	81	106.7%	85	104.5%
3月	367	98.4%	242	96.1%	3	13.2%	239	104.1%	23	89.6%	216	106.0%	10	107.4%	24	99.9%	92	103.8%	94	105.0%
第1四半期	1,194	99.9%	803	99.7%	96	94.0%	707	100.6%	81	104.7%	626	100.0%	31	140.2%	71	86.7%	289	101.2%	266	94.7%
第2四半期	1,225	101.0%	803	100.7%	64	103.4%	739	100.5%	79	105.3%	660	99.9%	31	132.6%	75	92.2%	316	101.7%	256	95.2%
第3四半期	1,181	100.6%	802	100.4%	102	99.1%	701	100.6%	86	99.9%	615	100.7%	34	118.0%	69	92.3%	276	101.8%	248	97.7%
第4四半期	1,108	101.2%	750	99.9%	67	75.6%	683	103.1%	72	95.0%	611	104.2%	31	117.7%	68	95.6%	259	105.0%	264	102.3%
上期	2,419	100.5%	1,606	100.2%	160	97.5%	1,446	100.5%	160	105.0%	1,286	100.0%	62	136.2%	146	89.4%	605	101.5%	522	94.9%
下期	2,289	100.9%	1,553	100.1%	169	88.2%	1,384	101.8%	158	97.6%	1,226	102.4%	65	117.9%	136	93.9%	535	103.3%	511	100.0%
年度計	4,708	100.7%	3,159	100.2%	329	92.5%	2,829	101.1%	318	101.2%	2,512	101.1%	126	126.2%	283	91.5%	1,140	102.3%	1,033	97.4%

閏年修正	4,695	100.4%	3,150	99.9%	328	92.2%	2,822	100.9%	317	100.9%	2,505	100.9%	126	125.8%	282	91.3%	1,137	102.1%	1,030	97.1%
------	-------	--------	-------	-------	-----	-------	-------	--------	-----	--------	-------	--------	-----	--------	-----	-------	-------	--------	-------	-------

表3-2: 2020年度第3四半期までの牛乳等生産量(見通し)

(千kl)

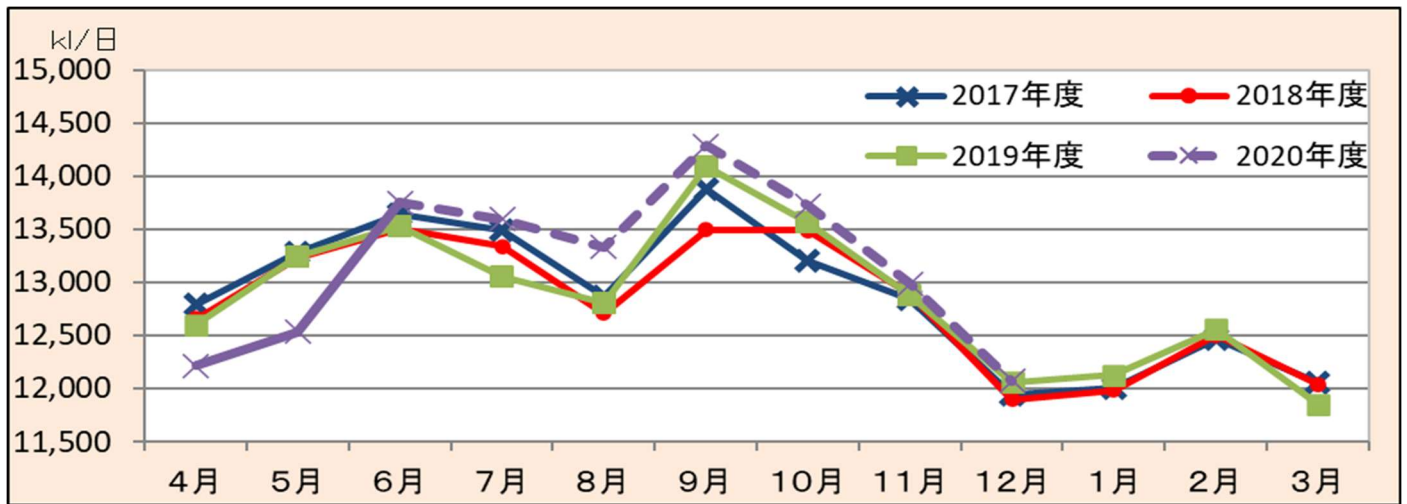
	牛乳類												加工乳	成分調整牛乳	乳飲料	はっ酵乳				
	牛乳				学乳				学乳以外											
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	うち、業務用	前年比	うち、業務用以外	前年比								
4月	367	97.0%	244	96.5%	5	21.9%	239	104.5%	20	72.4%	219	108.9%	6	60.1%	25	107.7%	91	99.8%	94	105.2%
5月	389	94.7%	258	93.3%	6	17.8%	251	104.1%	17	64.0%	234	109.1%	8	73.7%	26	106.0%	97	97.9%	95	106.4%
6月	413	101.6%	282	102.6%	35	93.8%	247	104.0%	22	84.1%	225	106.5%	8	84.8%	24	99.8%	99	100.9%	91	104.3%
7月	422	104.2%	284	106.3%	35	144.2%	249	102.5%	23	95.7%	226	103.2%	9	92.9%	25	101.2%	103	100.5%	90	103.7%
8月	413	104.1%	271	105.7%	16	265.5%	255	101.9%	25	95.5%	230	102.7%	10	92.1%	26	102.2%	107	102.0%	86	103.2%
9月	429	101.3%	285	102.0%	35	105.2%	250	101.6%	28	96.9%	222	102.2%	10	93.6%	25	98.7%	109	100.9%	87	101.9%
10月	425	101.1%	287	101.3%	37	100.1%	251	101.5%	29	98.0%	221	102.0%	10	91.7%	24	100.0%	104	101.9%	87	103.9%
11月	390	100.8%	269	101.6%	35	97.4%	234	102.3%	28	100.9%	205	102.5%	10	92.0%	22	96.5%	89	100.6%	84	100.1%
12月	374	100.1%	258	101.4%	29	98.4%	229	101.8%	27	97.9%	202	102.3%	11	93.1%	21	94.3%	84	98.5%	81	101.2%
第1四半期	1,168	97.8%	783	97.5%	46	48.2%	737	104.2%	59	73.4%	677	108.2%	22	72.5%	75	104.5%	288	99.6%	280	105.3%
第2四半期	1,263	103.2%	840	104.6%	86	134.9%	753	102.0%	76	96.1%	678	102.7%	29	92.9%	76	100.7%	319	101.1%	263	102.9%
第3四半期	1,189	100.7%	814	101.4%	100	98.7%	713	101.8%	85	98.9%	629	102.3%	31	92.3%	67	97.0%	278	100.4%	252	101.7%
上期	2,431	100.5%	1,623	101.0%	133	82.8%	1,490	103.1%	135	84.6%	1,355	105.4%	51	82.8%	150	102.6%	607	100.4%	543	104.2%
計	3,620	100.6%	2,437	101.2%	233	89.0%	2,204	102.7%	220	89.6%	1,984	104.4%	82	86.2%	217	100.8%	884	100.4%	796	103.4%

#### 【2020年度第3四半期までの牛乳等生産量の見通し】

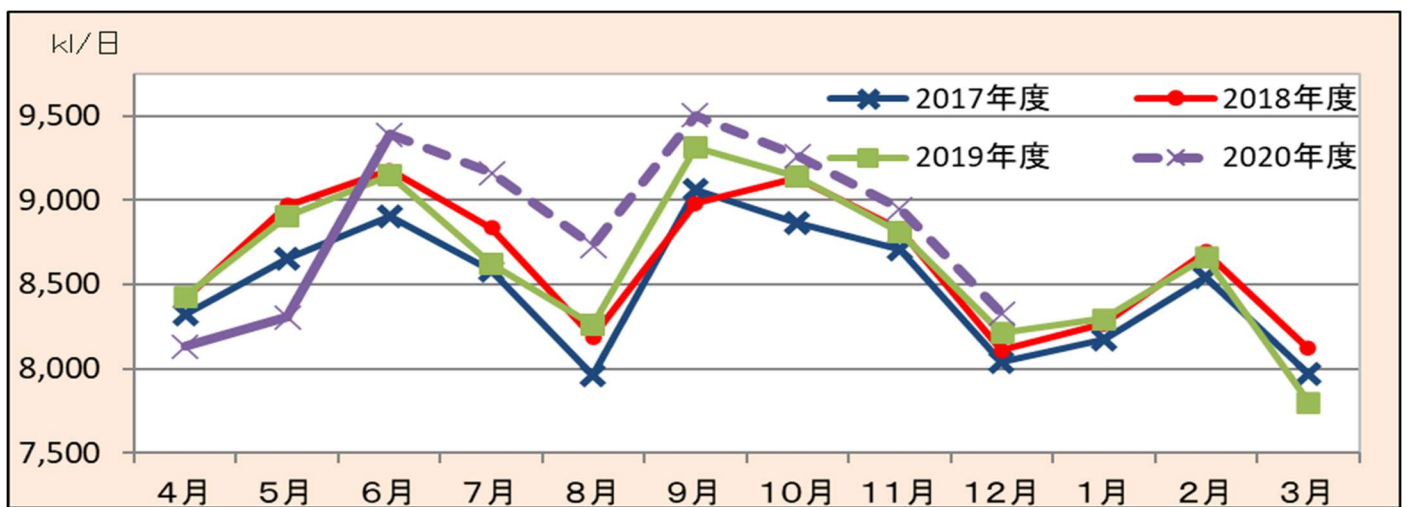
- ・牛乳等生産量は、「牛乳類」は3,620千kl・前年比100.6%。内訳として、「牛乳」2,437千kl・同101.2%、「加工乳」82千kl・同86.2%、「成分調整牛乳」217千kl・同100.8%、「乳飲料」884千kl・同100.4%。なお、「はっ酵乳」は、796千kl・同103.4%を見込んでいる。
- ・「牛乳」のうち「学乳」が7~8月に大幅増となる見通し。学乳以外のうち「業務用」は220千kl・同89.6%、「業務用以外」については、1,984千kl・104.4%を見込んでいる。



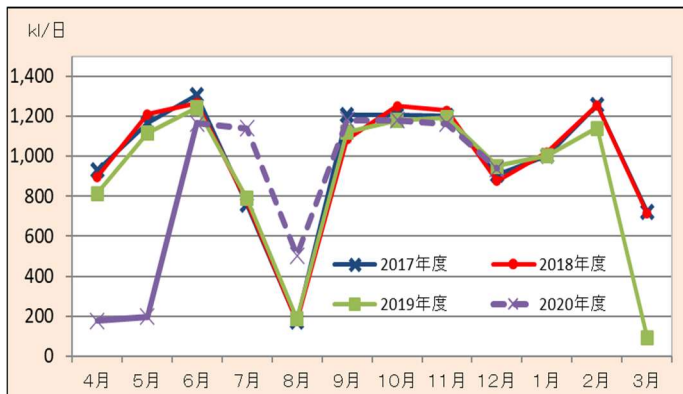
グラフ3-1：牛乳類（牛乳・加工乳・成分調整牛乳・乳飲料）の生産量（日均量）



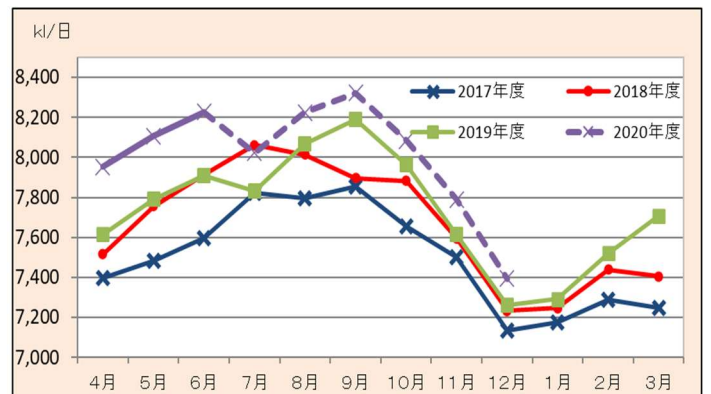
グラフ3-2：牛乳の生産量（日均量）



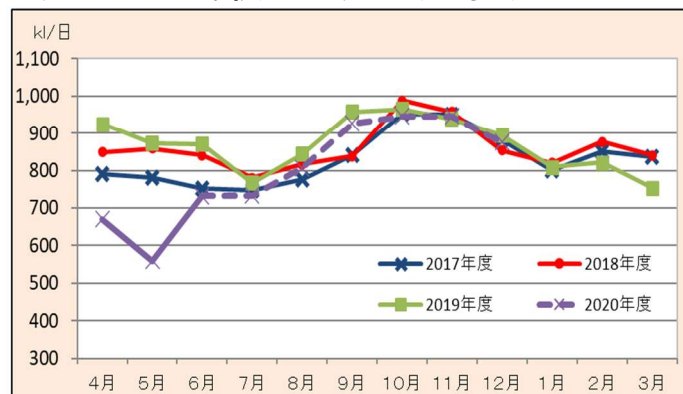
グラフ3-3：学乳の生産量（日均量）



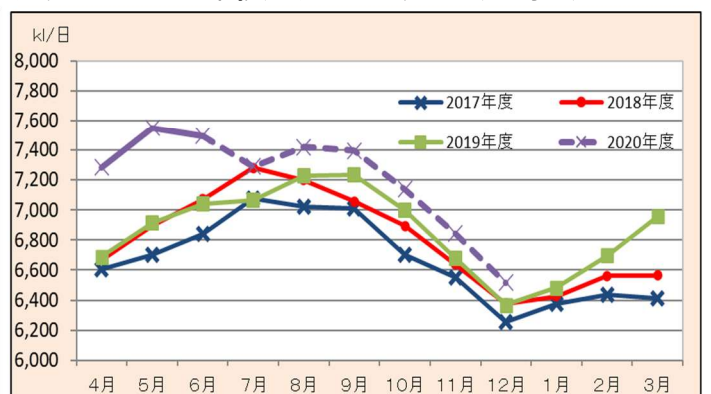
グラフ3-4：学乳以外の生産量（日均量）



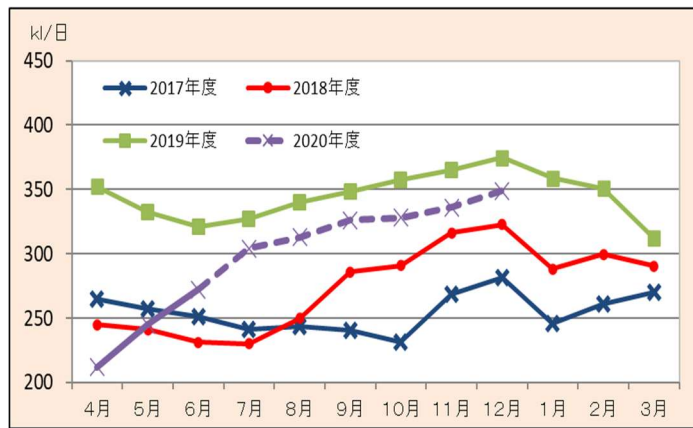
グラフ3-5：業務用の生産量（日均量）



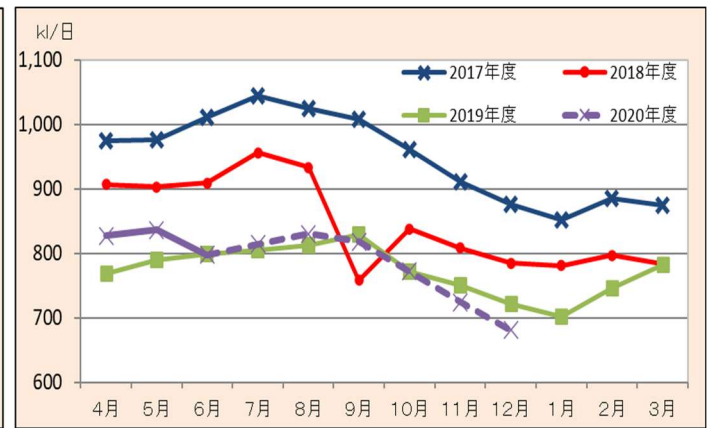
グラフ3-6：業務用以外の生産量（日均量）



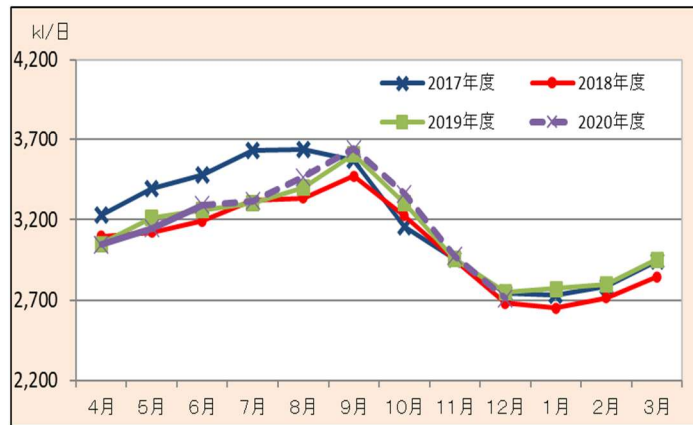
グラフ3-7：加工乳の生産量（日均量）



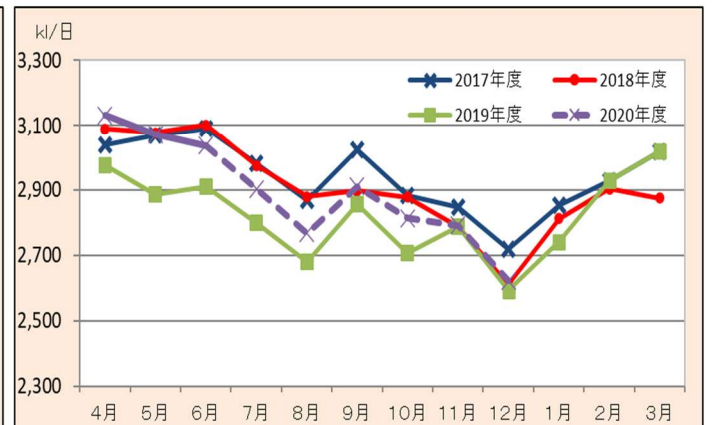
グラフ3-8：成分調整牛乳の生産量（日均量）



グラフ3-9：乳飲料の生産量（日均量）



グラフ3-10：はっ酵乳の生産量（日均量）



#### 4. 用途別処理量の動向

表4-1: 2019年度の生乳供給量及び用途別処理量(実績)

(千トン)

	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		飲用等向		乳製品向 (認定ベース)		脱脂粉乳・バター等向		チーズ向		生クリーム等向	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
4月	623	99.9%	4	88.2%	619	100.0%	330	100.0%	289	100.0%	148	101.5%	33	97.6%	107	98.9%
5月	644	99.5%	4	89.1%	641	99.5%	354	98.1%	287	101.4%	147	104.5%	36	105.0%	104	96.1%
6月	619	99.7%	4	91.6%	615	99.8%	357	99.5%	259	100.2%	122	102.2%	34	102.0%	102	97.4%
7月	623	101.1%	4	89.8%	620	101.2%	348	97.4%	272	106.6%	132	116.8%	33	93.9%	107	100.0%
8月	596	98.2%	4	91.0%	592	98.3%	339	99.5%	253	96.6%	117	95.4%	32	95.8%	104	98.3%
9月	584	104.1%	4	90.9%	580	104.2%	356	103.3%	224	105.7%	93	110.7%	31	114.4%	101	99.3%
10月	602	101.0%	4	90.8%	598	101.0%	362	100.3%	236	102.1%	98	105.5%	31	102.8%	106	99.1%
11月	585	101.0%	4	91.2%	582	101.0%	338	99.9%	243	102.7%	106	108.8%	32	105.7%	105	96.4%
12月	616	101.1%	4	89.8%	612	101.1%	323	101.2%	289	101.1%	147	101.6%	34	94.0%	108	102.9%
1月	625	101.4%	4	96.8%	621	101.5%	333	100.2%	288	103.0%	154	108.7%	34	95.2%	100	97.6%
2月	597	105.2%	4	108.1%	593	105.2%	319	102.5%	274	108.4%	145	118.4%	32	93.5%	97	100.9%
3月	650	101.6%	4	103.4%	646	101.6%	317	96.3%	329	107.3%	185	116.2%	39	106.9%	104	94.5%
第1四半期	1,886	99.7%	11	89.6%	1,875	99.8%	1,041	99.2%	834	100.5%	417	102.7%	104	101.6%	313	97.5%
第2四半期	1,802	101.1%	11	90.6%	1,791	101.2%	1,042	100.0%	749	102.8%	342	107.0%	96	100.3%	311	99.2%
第3四半期	1,803	101.0%	11	90.6%	1,792	101.1%	1,024	100.4%	769	101.9%	351	104.8%	98	100.4%	320	99.4%
第4四半期	1,871	102.7%	11	102.5%	1,860	102.7%	969	99.7%	891	106.2%	485	114.3%	105	98.7%	301	97.5%
上期	3,688	100.4%	22	90.1%	3,666	100.4%	2,083	99.6%	1,583	101.6%	759	104.6%	200	101.0%	625	98.3%
下期	3,675	101.8%	22	96.2%	3,652	101.9%	1,992	100.1%	1,660	104.2%	836	110.1%	204	99.5%	621	98.5%
年度計	7,363	101.1%	44	93.0%	7,318	101.2%	4,075	99.8%	3,243	102.9%	1,594	107.4%	403	100.2%	1,245	98.4%
閏年修正	7,342	100.8%	44	92.8%	7,298	100.9%	4,064	99.6%	3,233	102.6%	1,589	107.1%	402	100.0%	1,242	98.1%

表4-2: 2020年度第3四半期までの生乳供給量及び用途別処理量(見通し)

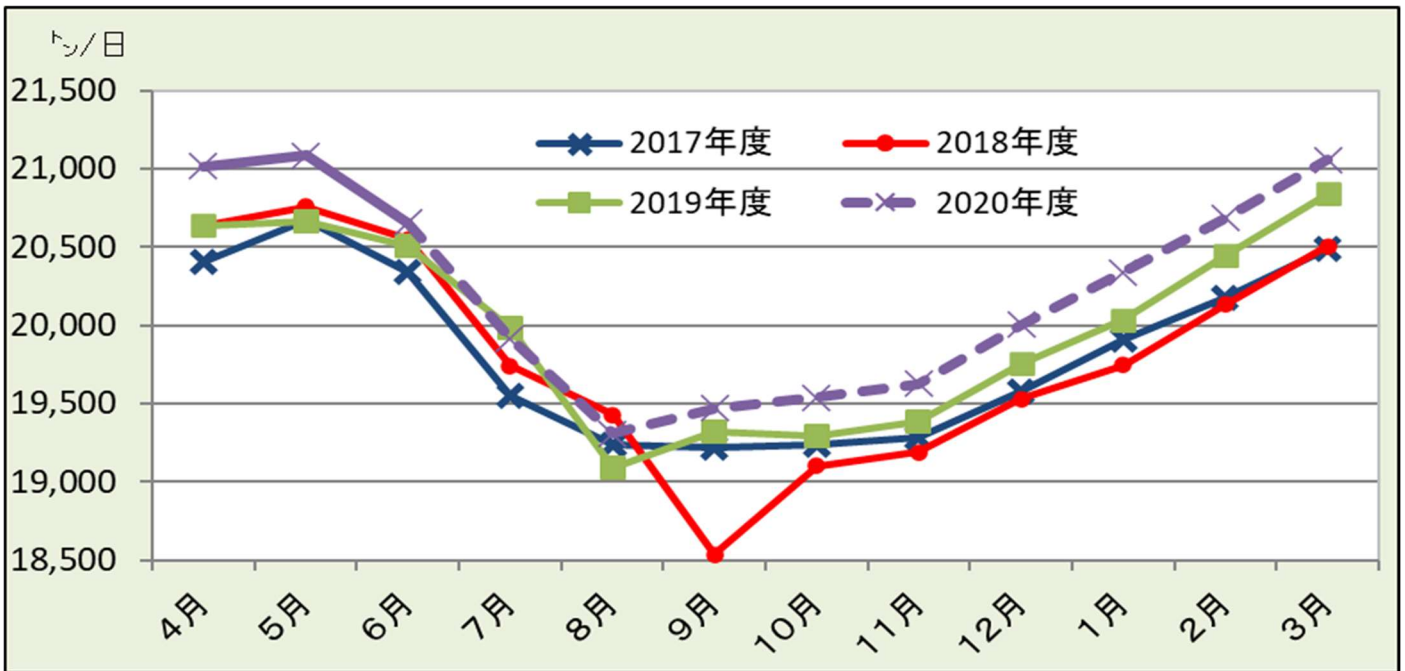
(千トン)

	生乳生産量		自家消費量		生乳供給量		飲用等向		乳製品向 (認定ベース)		脱脂粉乳・バター等向		チーズ向		生クリーム等向	
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
4月	634	101.8%	4	100.1%	630	101.8%	319	96.5%	312	107.9%	183	123.7%	36	109.4%	92	85.6%
5月	657	102.0%	4	98.8%	654	102.0%	340	96.1%	314	109.4%	173	118.2%	41	113.8%	99	95.6%
6月	623	100.7%	4	100.2%	620	100.7%	360	101.0%	259	100.4%	127	104.3%	34	98.3%	99	96.4%
7月	621	99.7%	4	99.6%	617	99.7%	364	104.7%	253	93.3%	119	90.3%	32	98.2%	102	95.5%
8月	602	101.1%	4	101.5%	599	101.1%	353	104.2%	246	97.0%	112	95.2%	33	103.5%	101	97.0%
9月	588	100.7%	4	101.0%	584	100.7%	360	101.0%	225	100.2%	92	99.9%	32	102.8%	100	99.8%
10月	609	101.2%	4	101.4%	606	101.2%	367	101.3%	239	101.2%	103	104.3%	31	98.7%	105	99.0%
11月	593	101.2%	4	101.3%	589	101.2%	342	101.1%	247	101.5%	112	106.2%	32	98.2%	103	97.7%
12月	624	101.3%	4	101.4%	620	101.3%	325	100.7%	295	101.9%	154	105.1%	33	97.6%	107	99.1%
第1四半期	1,915	101.5%	11	99.7%	1,904	101.5%	1,019	97.9%	885	106.1%	484	116.1%	111	107.3%	290	92.4%
第2四半期	1,811	100.5%	11	100.7%	1,800	100.5%	1,076	103.3%	724	96.6%	323	94.6%	98	101.4%	303	97.4%
第3四半期	1,826	101.2%	11	101.4%	1,815	101.2%	1,034	101.0%	780	101.5%	369	105.2%	96	98.1%	315	98.6%
上期	3,726	101.0%	22	100.2%	3,704	101.0%	2,095	100.6%	1,608	101.6%	807	106.4%	209	104.5%	593	94.9%
計	5,552	101.1%	34	100.6%	5,518	101.1%	3,130	100.7%	2,389	101.6%	1,176	106.0%	305	102.4%	908	96.1%

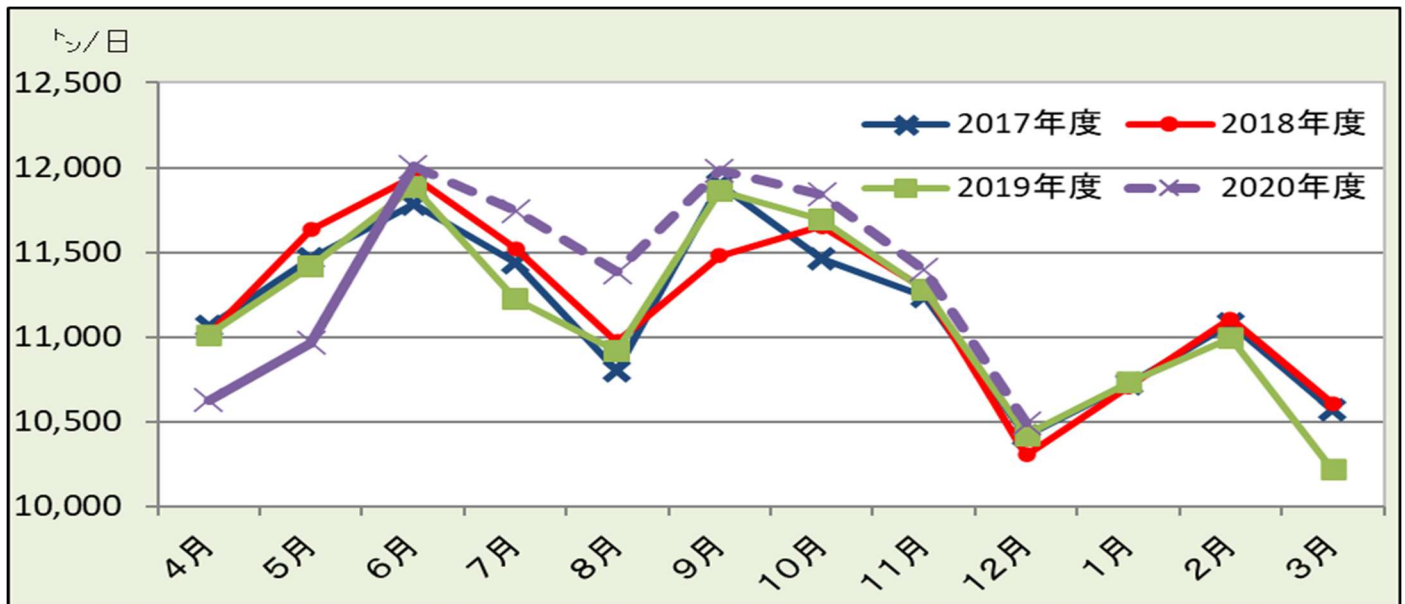
#### 【2020年度第3四半期までの用途別処理量の見通し】

- ・「生乳供給量」は5,518千トン・前年比101.1%、「飲用等向処理量」は3,130千トン・同100.7%、「乳製品向処理量」は2,389千トン・同101.6%を見込んでいる。
- ・乳製品向のうち、「チーズ向」は305千トン・102.4%、「生クリーム等向け」は908千トン・96.1%を見込んでいる。
- ・「脱脂粉乳・バター等向」は、1,176千トン・106.0%と前年を上回る見通し。

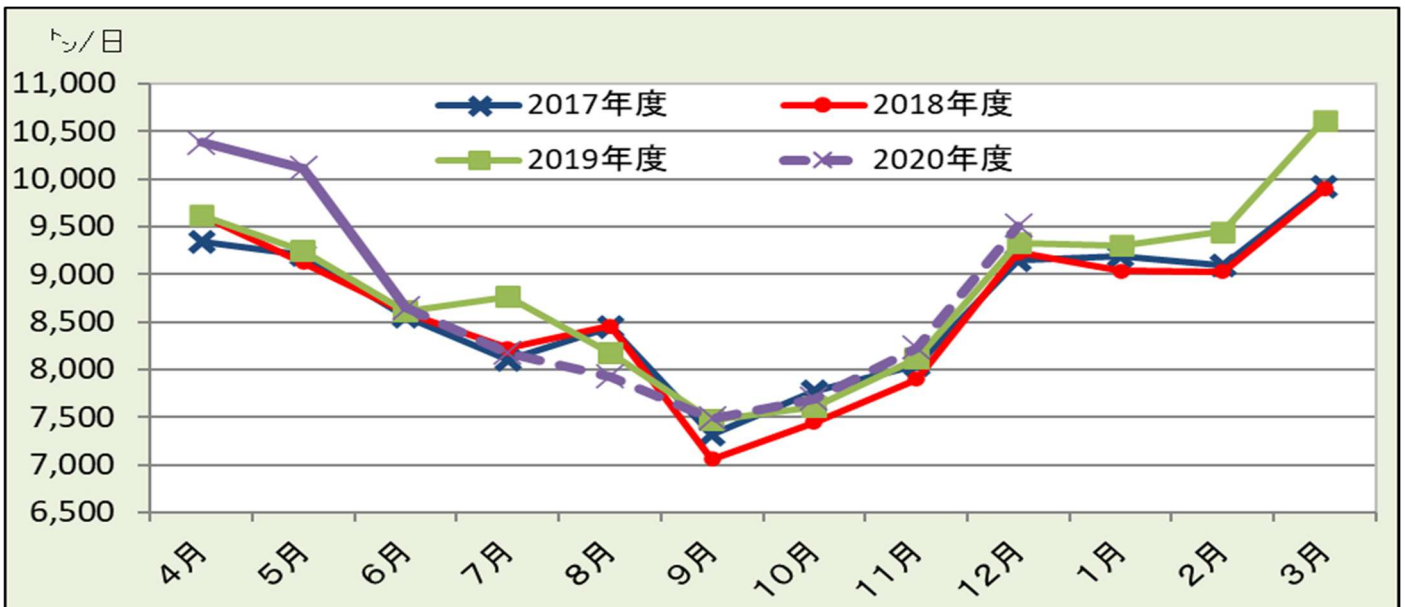
グラフ4-1：生乳供給量（日均量）



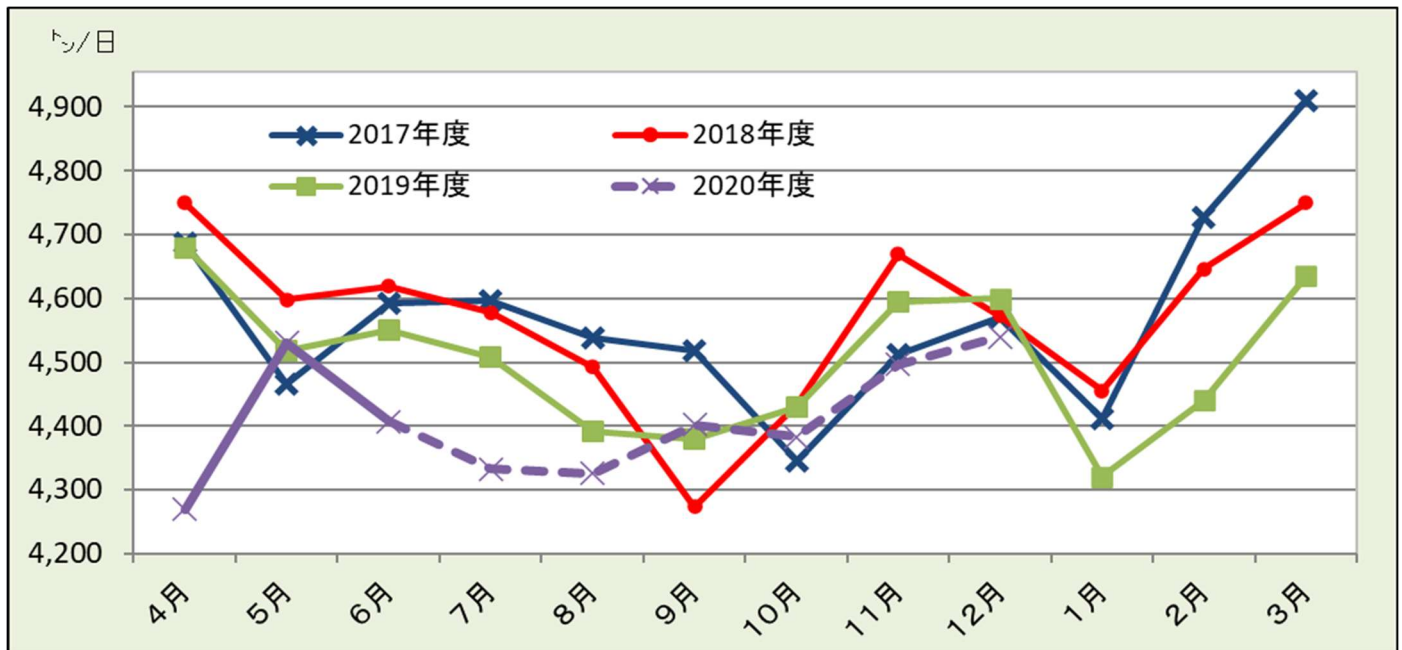
グラフ4-2：飲用等向生乳処理量（日均量）



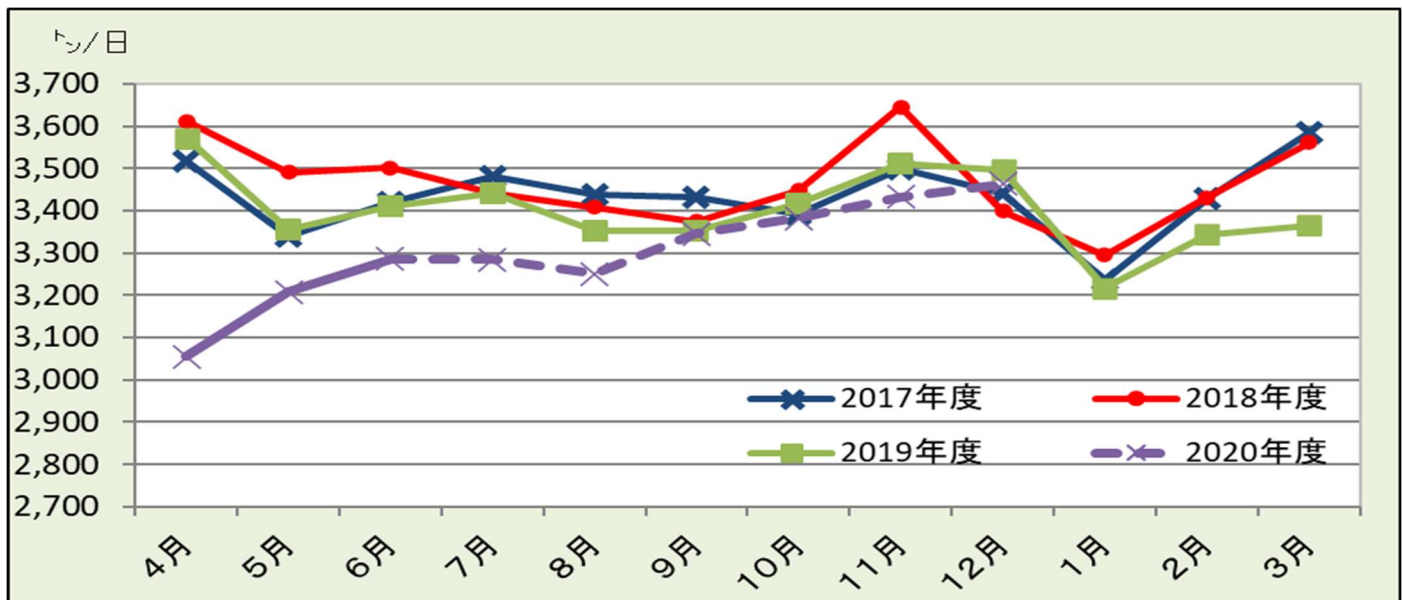
グラフ4-3：乳製品等向生乳処理量（日均量）



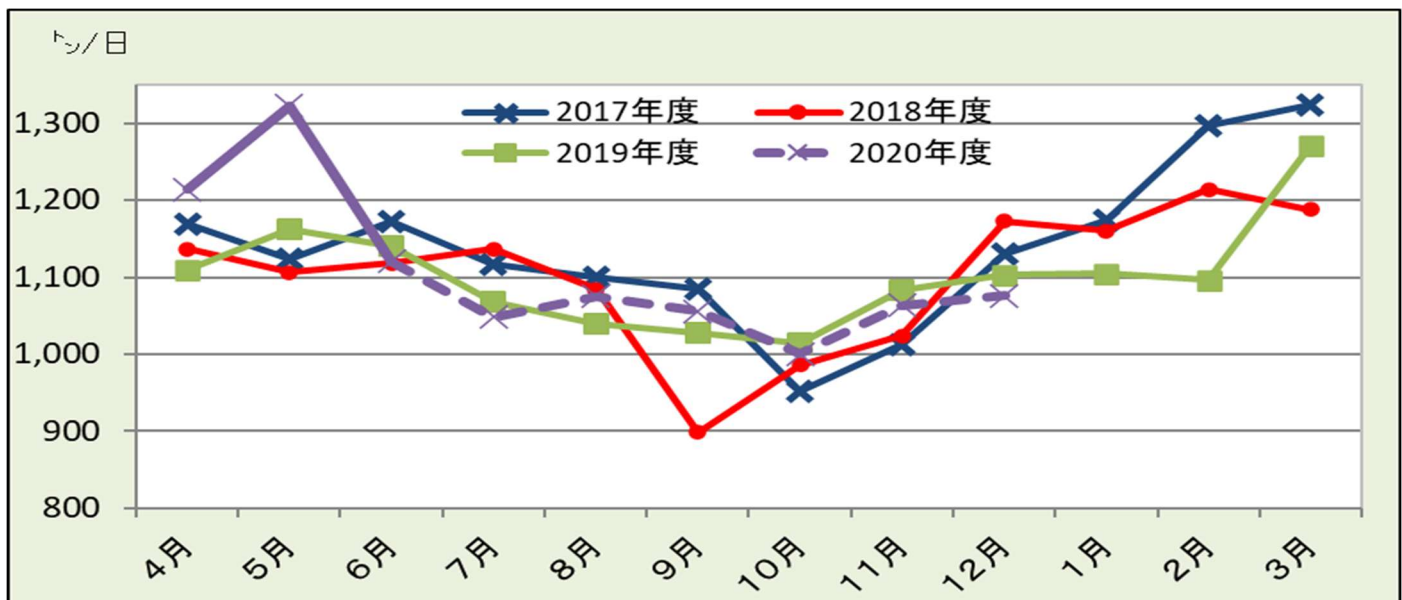
グラフ4-4：生クリーム等向・チーズ向生乳処理量（日均量）



グラフ4-5：生クリーム等向生乳処理量（日均量）



グラフ4-6：チーズ向生乳処理量（日均量）



## 5. 乳製品需給の動向

表5-1：2019年度の脱脂粉乳の需給（実績）

（千トン）

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し C	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比		A+B+C-D	月数	前年比	D	前年比
第1四半期	65.4	98.0%	33.6	104.6%	1.2	71.1	6.2	103.9%	29.1	91.0%
第2四半期	71.1	103.9%	27.4	107.3%	2.5	67.9	5.9	110.5%	33.1	93.0%
第3四半期	67.9	110.5%	30.5	105.2%	2.1	69.3	6.1	113.3%	31.2	91.1%
第4四半期	69.3	113.3%	39.1	116.7%	2.2	76.3	6.7	116.5%	34.4	96.7%
上期	65.4	98.0%	60.9	105.8%	3.7	67.9	5.9	110.5%	62.2	92.0%
下期	67.9	110.5%	69.6	111.4%	4.4	76.3	6.7	116.5%	65.6	93.9%
<b>年度計</b>	<b>65.4</b>	<b>98.0%</b>	<b>130.5</b>	<b>108.7%</b>	<b>8.1</b>	<b>76.3</b>	<b>6.7</b>	<b>116.5%</b>	<b>127.8</b>	<b>93.0%</b>

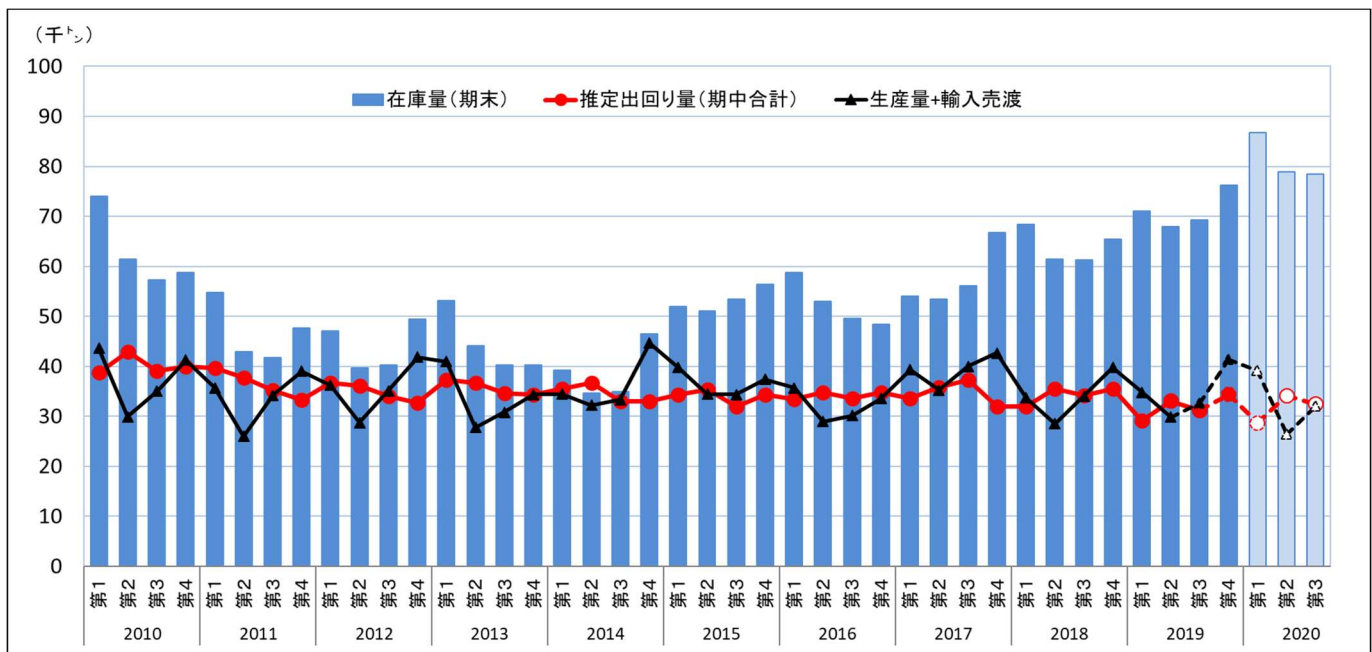
<b>閏年修正</b>	-	-	<b>130.1</b>	<b>108.3%</b>	-	-	-	-	<b>127.4</b>	<b>92.7%</b>
-------------	---	---	--------------	---------------	---	---	---	---	--------------	--------------

表5-2：2020年度第3四半期までの脱脂粉乳の需給（見通し）

（千トン）

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し C	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比		A+B+C-D	月数	前年比	D	前年比
第1四半期	76.3	116.5%	38.0	113.2%	1.1	86.7	8.1	121.9%	28.7	98.5%
第2四半期	86.7	121.9%	25.9	94.6%	0.4	78.9	7.4	116.1%	34.2	103.3%
第3四半期	78.9	116.1%	32.1	105.2%	0.0	78.5	7.4	113.2%	32.5	104.0%
上期	76.3	116.5%	63.9	104.9%	1.5	78.9	7.4	116.1%	62.9	101.1%
<b>計</b>	<b>76.3</b>	<b>116.5%</b>	<b>96.0</b>	<b>105.0%</b>	<b>1.5</b>	<b>78.5</b>	<b>7.4</b>	<b>113.2%</b>	<b>95.3</b>	<b>102.0%</b>

グラフ5：脱脂粉乳の生産量・輸入売渡・推定出回り量・在庫量（四半期毎）



### 【2020年度第3四半期までの脱脂粉乳需給の見通し】

- ・生産量は96.0千トン・前年比105.0%、推定出回り量は95.3千トン・同102.0%となる見通し。輸入売渡しは1.5千トン・前年比26.3%、第3四半期末点の在庫量は78.5千トン・同113.2%と引き続き高水準の見通し。
- ・なお、高水準の在庫に対しては、国によって飼料用等で活用する取り組みへの支援も既に行われているところであり、今後在庫量から約20千トンが削減される見通しとなっている。

表5'-1: 2019年度のバター需給(実績)

(千トン)

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し C	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比		A+B+C-D	月数	前年比	D	前年比
第1四半期	23.6	101.6%	17.0	102.6%	4.6	26.0	4.0	97.7%	19.3	101.1%
第2四半期	26.0	97.7%	14.0	110.1%	7.7	27.3	4.2	109.0%	20.4	111.3%
第3四半期	27.3	109.0%	13.9	106.9%	5.2	23.6	3.6	117.3%	22.7	108.2%
第4四半期	23.6	117.3%	20.6	117.5%	4.0	28.8	4.4	121.7%	19.4	99.7%
上期	23.6	101.6%	31.1	105.8%	12.3	27.3	4.2	109.0%	39.7	106.1%
下期	27.3	109.0%	34.4	113.0%	9.2	28.8	4.4	121.7%	42.1	104.1%
<b>年度計</b>	<b>23.6</b>	<b>101.6%</b>	<b>65.5</b>	<b>109.5%</b>	<b>21.5</b>	<b>28.8</b>	<b>4.4</b>	<b>121.7%</b>	<b>81.8</b>	<b>105.1%</b>

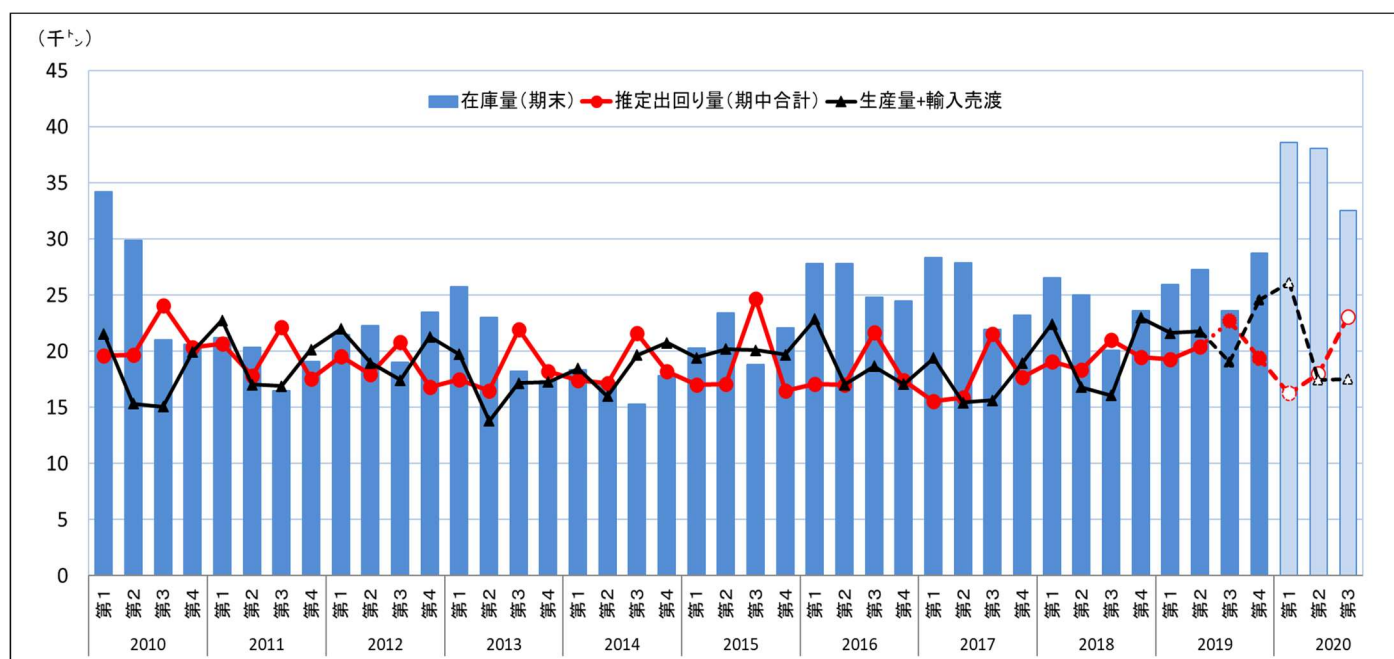
<b>閏年修正</b>	-	-	<b>65.3</b>	<b>109.1%</b>	-	-	-	-	<b>81.6</b>	<b>104.8%</b>
-------------	---	---	-------------	---------------	---	---	---	---	-------------	---------------

表5'-2: 2020年度第3四半期までのバターの需給(見通し)

(千トン)

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し C	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比		A+B+C-D	月数	前年比	D	前年比
第1四半期	28.8	121.7%	21.5	126.2%	4.6	38.6	5.7	148.8%	16.2	84.1%
第2四半期	38.6	148.8%	13.9	99.5%	3.5	38.1	5.6	139.6%	18.0	88.1%
第3四半期	38.1	139.6%	14.6	105.2%	3.0	32.6	4.8	138.0%	23.1	101.5%
上期	28.8	121.7%	35.5	114.1%	8.1	38.1	5.6	139.6%	34.2	86.2%
計	28.8	121.7%	50.0	111.4%	11.1	32.6	4.8	138.0%	57.3	91.8%

グラフ5': バターの生産量・輸入売渡・推定出回り量・在庫量(四半期毎)



## 【2020年度第3四半期までのバター需給の見通し】

- ・生産量は50.0千トン・前年比111.4%、推定出回り量は57.3千トン・同91.8%となる見通し。輸入売渡しは11.1千トン・前年比63.3%、第3四半期末時点の在庫量は32.6千トン・同138.0%と引き続き高水準の見通し。
- ・なお、3月以降消費が急増した「家庭用バター」の出回り量については、引き続き堅調に推移すると推察され、第3四半期末時点で15.3千トン・同114.8%を見込んでいる。

6. 都府県の生乳需給の動向

表6-1: 2019年度の都府県の需給(実績)

(千トン)

	生乳供給量		飲用等向処理量		生クリーム等向・チーズ向		A-B-C	移入量(道外移出量)D		脱脂粉乳・バター等向	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比			前年比		前年比
4月	287	98.4%	286	100.1%	6	91.5%	-5	30	110.7%	25	94.0%
5月	291	97.5%	307	98.8%	6	93.7%	-22	39	107.4%	17	96.1%
6月	272	97.7%	309	99.7%	5	92.6%	-43	53	109.6%	10	95.7%
7月	268	100.0%	298	97.6%	5	99.9%	-35	49	94.5%	14	145.6%
8月	253	95.6%	289	99.2%	5	93.1%	-41	53	109.2%	12	73.4%
9月	250	97.2%	303	101.6%	5	97.9%	-57	62	125.9%	4	118.0%
10月	262	98.7%	308	100.3%	5	95.7%	-52	58	107.9%	7	102.2%
11月	257	99.3%	291	100.4%	6	95.1%	-41	50	107.4%	10	108.0%
12月	271	99.0%	279	101.5%	7	98.9%	-15	41	114.2%	26	93.3%
1月	277	99.3%	288	100.2%	6	100.4%	-16	38	106.3%	23	98.8%
2月	267	102.9%	275	102.9%	5	93.7%	-14	32	103.4%	18	107.9%
3月	294	99.8%	271	96.1%	6	89.7%	17	23	85.6%	40	122.1%
第1四半期	849	97.9%	902	99.5%	17	92.6%	-70	122	109.1%	52	95.0%
第2四半期	772	97.6%	889	99.4%	16	96.9%	-133	164	109.6%	31	103.0%
第3四半期	790	99.0%	879	100.8%	18	96.7%	-107	150	109.4%	43	97.7%
第4四半期	838	100.6%	834	99.7%	16	94.4%	-12	93	99.4%	81	111.5%
上期	1,621	97.7%	1,791	99.5%	33	94.6%	-204	286	109.4%	82	97.8%
下期	1,628	99.8%	1,713	100.2%	35	95.6%	-119	243	105.3%	124	106.3%
年度計	3,249	98.8%	3,504	99.8%	68	95.1%	-323	529	107.5%	206	102.7%

閏年修正	3,240	98.5%	3,495	99.6%	68	94.9%	-322	528	107.3%	206	102.4%
------	-------	-------	-------	-------	----	-------	------	-----	--------	-----	--------

表6-2: 2020年度第3四半期までの都府県の需給(見通し)

(千トン)

	生乳供給量		飲用等向処理量		生クリーム等向・チーズ向		A-B-C	移入量(道外移出量)D		脱脂粉乳・バター等向	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比			前年比		前年比
4月	287	100.3%	277	96.7%	5	83.7%	6	30	100.6%	36	145.9%
5月	294	101.3%	294	95.7%	5	84.6%	-4	30	76.8%	26	151.1%
6月	272	100.1%	311	100.5%	5	95.8%	-44	54	101.6%	10	99.0%
7月	263	97.8%	309	104.0%	5	92.2%	-52	62	126.2%	10	68.7%
8月	253	99.9%	299	103.7%	5	95.5%	-52	61	114.8%	9	76.1%
9月	250	99.9%	307	101.3%	5	97.5%	-61	65	105.4%	4	84.8%
10月	263	100.4%	314	101.8%	5	96.9%	-56	63	107.2%	7	97.8%
11月	257	100.3%	293	100.6%	5	95.3%	-41	50	99.8%	9	92.6%
12月	271	99.9%	279	100.1%	7	98.7%	-15	42	102.3%	27	102.5%
第1四半期	854	100.6%	881	97.7%	15	87.7%	-42	114	93.4%	72	138.5%
第2四半期	765	99.2%	915	103.0%	15	95.0%	-165	188	114.7%	23	73.9%
第3四半期	792	100.2%	886	100.8%	18	97.1%	-112	155	103.4%	42	99.5%
上期	1,619	99.9%	1,797	100.3%	30	91.2%	-208	302	105.6%	94	114.5%
計	2,411	100.0%	2,683	100.5%	48	93.3%	-320	457	104.8%	137	109.4%

【2020年度第3四半期までの都府県の生乳需給の見通し】

・「生乳供給量」は2,411千トン・前年比100.0%、「飲用等向処理量」は2,683千トン・同100.5%となる見通しである。北海道から都府県への「移入量(道外移出量)」は、7~10月にかけて大幅に増加する見込みであり、第3四半期終了時点で457千トン・同104.8%と前年を上回る見通しである。

※上記の「移入量(道外移出量)」については、都府県の需要予測に基づく「必要量」であり、物理的条件(輸送体制、人員体制等)については、加味していない。



## 7. 需給動向を踏まえた当面の課題と対応について

### (1) 今夏の生乳需給調整とその課題について

全国的な緊急事態宣言期間中の巣ごもり需要によって、大きく増加した牛乳の家庭内消費については、宣言解除後も堅調に推移しており、停滞していた業務用需要についても徐々に回復に向かっている。さらに、学校の夏期休業短縮によって、7～8月に学校給食用牛乳が例年より21千kl程度多く必要になると見込まれており、9月の最需要期にかけて都府県における飲用需給は例年以上にひっ迫基調で推移する見通しにある。

都府県の需要に最大限応えるべく、業界関係者が一丸となって北海道からの生乳輸送や、産地パック牛乳の安定供給に努めるとともに、生産現場での暑熱対策等、生乳生産の減少を最小限に止めるための対策も重要となる。ただ、業界として最大限の取り組みを行っても、都府県の牛乳需要に応えきれない可能性があることから、学校給食用牛乳の優先供給に努めつつ、牛乳売場で混乱が生じないよう、廉売の自粛や加工乳等の代替品の販売について流通小売業界に理解を得る必要がある。

なお、今夏は、コロナ禍の影響によって特殊な需給環境にあるものの、通常時においても9月を中心とした最需要期の都府県の生乳需給ひっ迫とそれに伴う北海道からの生乳確保については、業界としての最重要課題であることから、現在進めている輸送量の最大化への取り組みに加えて、中長期的な視点からの協議・検討も必要となる。

### (2) 乳製品需給とその課題について

乳製品の需給については、インバウンド需要の喪失や緊急事態宣言期間中の飲食店の休業等によって、業務用需要が低迷したことから、脱脂粉乳ならびに業務用バターの在庫が非常に高い水準となっている。なお、脱脂粉乳については、国によって飼料等への活用や輸入調製品の代替品として利用する取り組みに対して支援が行われており、今後在庫から2万ト程度削減される見通しとなっている。業務用需要は、6月以降徐々に回復基調にはあるものの、観光業の低迷や当面インバウンド需要が期待できないこと等を考慮すると、従来の需要水準に短期間で回復することは困難な状況にある。

なお、巣ごもり需要によって3月以降大幅に消費増となった家庭用バターについては、徐々に落ち着きを見せつつあるものの、今後の消費も堅調に推移するものと見込まれることから、年末の最需要期に再び不足感が出ることを防ぐよう、安定供給に向けた対応が必要となる。

一方、上記のとおり業務用バターの在庫は大きく積み上がっており、バター全体としては過剰感が強まっていることから、国家貿易の輸入・売渡については、夏季の生乳生産や乳製品需要の実績、TPP11等の低関税枠の輸入動向も考慮した上で、適切な運用が求められる。

### (3) 新型コロナウイルスの継続的な影響を想定した今後の対応について

6月以降、経済活動が順次再開されているが、ここにきて首都圏を中心に再び新規感染者数が急増しており、今後の動向は、地域的な休業要請や、外食の自粛、在宅勤務の増加等がさらに進む可能性もあるなど、不透明な状況にある。本見通しにおいては、これらの影響は加味していないものの、今後、今春発生したような短期的な生乳需給の大幅緩和が再び起こる可能性も想定した対応が必要となる。

処理不可能乳の発生や、増産基調にある酪農生産基盤の棄損につながる減産を回避するためには、酪農乳業界が一丸となって全国的な需給調整に取り組むとともに、“with コロナ”時代の消費スタイルの変化を踏まえつつ、特に家庭内消費の拡大を主眼として、牛乳・乳製品の栄養・健康機能等の多面的な価値の訴求を通じた継続的な需要拡大への取り組みも重要となる。

なお、上記取り組みの推進とあわせ、過剰在庫対策等の生乳需給安定に向けた仕組みの構築について、酪農乳業関係者が一体となって、国への働きかけを含めた対応を進める必要がある。